

ゴールドシップ大本命なら、

これを蹴り「金色馬券」で勝負！

馬券は「アート」です。けっして的中させようとは思ってはいけません。なぜなら、アートは「邪心」を持っていたら完成しないからです。そこで、今回は、馬券のアートな買い方を考えてみましょう。

まず、今回の天皇賞はゴールドシップで断然という下馬評です。実績からこの馬を外す理由は1ミリもありません。そこで、馬券をアートと考える人間は、ゴールドシップから総流しすれば的中すると考えます。しかし、総流しでは的中しても、相手が人気薄馬でなければトリガミという最悪の結果を招くので、相手馬を絞ります。もっとも可能性があると思われるのが、2番人気確実なフェノーメノ。そこで、この馬への馬単か馬連での1点勝負が、最大の「邪心馬券」となります。

さらに「邪心」から、もしフェノーメノが来なかったらどうするんだと思い出し、アドマイヤラクティ、トーセンラー、レッドガドー、カポーティスター、ムスカテールなどの有力馬から2、3頭を選んで流そうとなります。こうして邪心馬券が完成します。

さらに、3連複、3連単を買う邪心人間は、ゴールドシップ1頭軸から、こうした馬の組み合わせをすべて押さえることになります。

しかし、こんなことをしてなにが面白いのでしょうか？
はっきり言ってゼンゼン面白くないのは、もういやというほど経験してきました。人生の後半戦に入っている身で、こんな面白くないことをする意味が、私にはありません。

繰り返しますが、馬券は「アート」です。

アートはひらめきです。

そ
こで、ゴールドという色に注目し、「金色馬券」はどうか？と、まずひらめきます。というのは、ゴールドシップ以外にステイゴールド産駒が2頭出ているからです。となると、ゴールドシップから、ステイゴールド産駒、すなわちフェノーメノ、サトノシュレンのゴールド2頭に流すのがアートな「金色馬券」です。ただ、ここで気になるのがトウカイパラダイス。なんと、ゴールドアリュール産駒ですから、押さえる必要あるだろう、となってきます。

と
ころが、これでもゼーゼン面白くありません。で、さらにどうせ「色」で買うんだから、「レッド（赤）馬券」はどうかと思うのです。これは、レッドカドー、レッドデイヴィスの1点勝負。しかも、この2頭のレッドはいずれも「せん馬」です。ここま
で来ると、ゴールドシップは完全に視野から消えるので、馬券は
やっとアートに近づきます。

しかし、それでも、なんか釈然としません。

で、さらにアートになる組み合わせを考えてみると、トウカイトリック、トウカイパラダイスの「トウカイ馬券」というものもあります。さらに、アグネスタキオン産駒の2頭コバノジンガー、レッドデイヴィスの1点勝負、ハーツクライ産駒2頭アドマイヤラクティ、カポーティスター1点勝負というのもあるわけです。

ところで、今週、名牝エアグルーヴが死んだので、その仔フォゲッタブルから総流しという「追悼的アート馬券」もあるでしょう。もちろん、総流しでなく、ゴールドシップとの1点勝負なんてなると、これは思いつく人間も多いので、やはりアートではありませんね。

まだあります。今年のGIは、なんと、桜花賞、皐月賞ともまったく同じ馬番が来ているのです。こんな偶然は、これまで1度もありません。以下を見てください。

《桜花賞》

1着	4枠	7番	アユサン
2着	7枠	14番	レッドオーヴァル

《皐月賞》

1着	4枠	7番	ロゴタイプ
2着	7枠	14番	エピファネイア

となると、2度あることは3度あるで、

《天皇賞》

1着	4枠	7番	アドマイヤラクティ
2着	7枠	14番	コバノジンガー

もありかと思える人もいるのではないのでしょうか？ しかし、これはアートではなく、単なる「出目馬券」。しかも、もしそんなことが起こったら、「オカルト馬券」になってしまいます。

というわけで、以上、馬券はアートという見地から、成績、タイムなどの実績をすべて考慮しない買い方を列記してみました。しかし、まだまだ、釈然としません。

で、
結局、今回はもっとアートをしたくなり、最初に返って「金色馬券」で勝負することにしました。といってもゴールドシップからではなく、サトノシュレンからの総流しです。よく見るとこの馬、なんとステイゴールド産駒のうえ母親がレッドダイヤモンド。つまり、金赤両方そなえているので、ここまでくれば、完全に「アート馬券」ではないでしょうか？

つまり、この馬を選んだ理由はほぼない。選んだ理由がまったく競馬とは関係ないうえ、理屈にもなっていないということで、アートなのです。

1-01 トーセンラー	(牡5、武 豊 ・ 藤原英昭)
1-02 サトノシュレン	(牡5、幸 英明・村山明)
2-03 デスペラード	(牡5、浜中 俊・安達昭夫)
2-04 ジャガーメイル	(牡9、戸崎圭太・堀宣行)
3-05 マイネルキッツ	(牡10、C.デムロ ・ 国枝栄)
3-06 フェノーメノ	(牡4、蛭名正義・戸田博文)
4-07 アドマイヤラクティ	(牡5、岩田康誠・梅田智之)
4-08 ゴールドシップ	(牡4、内田博幸・須貝尚介)
5-09 ユニバーサルバンク	(牡5、川田将雅・松田博資)
5-10 メイショウカンパク	(牡6、藤田伸二・荒川義之)
6-11 トウカイトリック	(牡11、北村宏司・野中賢二)
6-12 フォゲッタブル	(牡7、和田竜二・池江泰寿)
7-13 レッドカドー	(セン7、G.モッセ .・E.ダンロップ) イギリス
7-14 コパノジンガー	(牡8、国分恭介・宮徹)
7-15 カポーティスター	(牡4、高倉 稜・矢作芳人)
8-16 トウカイパラダイス	(牡6、柴山雄一・田所秀孝)
8-17 レッドデイヴィス	(セン5、北村友一・音無秀孝)
8-18 ムスカテル	(牡5、福永祐一・友道康夫)

